

研究室 からの メッセージ

125

後列左から 金子、曾根
前列左から 阿部、塚田、石垣、織田

Data(2015 年 4 月現在)

所在地：〒929-1210 石川県かほく市学園台 1-1
スタッフ：石垣和子(教授[学長])、阿部智恵子
(准教授)、織田初江(准教授)、塚田久恵(准教
授)、曾根志穂(助教)、金子紀子(助手)
URL <http://www.ishikawa-nu.ac.jp/>



石川県立看護大学看護学部 地域看護学講座

History and Now

どのような機関なのでしょう？

本学は 2000(平成 12)年に開学し、保健・医療・福祉の幅広い領域で指導的役割を果たす看護職のスペシャリストの育成、地域に開かれた大学をめざして、教育、研究、地域貢献を行ってきました。そして、2004(平成 16)年に博士前期課程、2006(平成 18)年に博士後期課程を開設しました。博士前期課程には 4 種類の専門看護師(CNS)を養成するコースが含まれています。

地域看護学講座には 6 名の教員が配置され、地域社会をキャンパスとした学びの機会を増やし、住民の暮らしの場である地域を視野に入れた看護職の養成をめざしています。

Education

どのような教育をしていますか？

本学の教育の特徴は、1 年次からさまざまな地域に出向き、人々の生活を理解するとともに、地域の問題を解決する多様なカリキュラムやプログラムを提供するところにあります。民泊型フィールド実習や、地域課題解決型ゼミナール、ボランティア活動を通してさまざまな社会的課題への理解を促すヒューマンヘルスケア科目、グローバルな人材養成をめざし、アメリカや韓国、タイなどで地域看護、医療、福祉の体制を学ぶ研修などがあります。

4 年間の学びを通じ、学生は真に喜ばれる看護を

提供できる職業人へと成長し、将来のリーダーや看護学の発展に寄与できる人材となるものと考えています。

Research

どのような研究をしていますか？

科研費や学内研究助成費を活用し、教員全員が積極的な姿勢で研究に臨んでいます。

具体的に取り組んでいるテーマは、「家族看護・老人看護・過疎地域・農村地域での看護」「保健事業の評価」「保健指導能力の育成」「高齢者の生活機能維持」「地域特性を踏まえた子育て支援」などです。また、現場の保健師との共同研究としては、「僻地における看護」「災害保健活動」などをテーマに研究を行っています。

Collaboration

保健活動の現場とのつながりは？

2010(平成 22)年度に本学は大学のあるかほく市と包括的連携協定を締結しており、その事業の 1 つに、学生によるかほく市の高齢者世帯への家庭訪問があります。これは、地域看護学の家庭訪問演習の一環として授業に取り入れているものです。3 年次学生が家庭訪問演習を継続して行うことで、4 年次における地域看護学実習の準備としても大きな学習効果が得られています。また、自治体からの要請を受け、委員会・審議会に参加しているほか、県の新任保健師教育にも協力しています。

ひとこと

本学はかほく市という自然に恵まれ、歴史・教育・文化が豊かな土地に位置することを活かし、地域と連携したさまざまな活動や研究を行っています。そして、基礎教育に加えて大学院教育(地域看護 CNS の育成も含む)にも力を入れ、保健師活動の発展に貢献したいと願っています。

……石垣

あなたの研究室を紹介してください！ 保健師ジャーナルでは、このページに登場してくださる研究室(保健師教育に関わる講座・分野・領域)を募集中です。研究室での保健師教育の特色や、研究活動、現場とのつながりを紹介してください。
応募について ● 電話、FAX、E-mail のいずれかにて編集室までご連絡ください。掲載分には医学書院特製図書カードを進呈いたします。
連絡先 ● 医学書院『保健師ジャーナル』編集室 ☎ 03-3817-5774 FAX 03-5804-0485 ✉ hokenshi@igaku-shoin.co.jp